

科目の目標

学校教育目標	知識・技能		思考・判断・表現		学びに向かう力・人間性等		
	理解力	生活力	分析力	表現力	関心力	受容力	向上力
科目で育成する 資質・能力	・ビジネスに関する情報を処理するために必要な情報通信ネットワークの導入及び表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアの活用に関する知識と技術の習得と理解する。	・情報を効率的に処理することの重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適正に運用することの意義を理解する。	・問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	・情報や情報手段を正確にかつ適切に取り扱う判断と表現、活用することができる。	・情報や情報社会のビジネスに関心を持ち授業に臨むことができる。	・問題を解決するために他者の意見も尊重し、対応することができる。	・自ら進んで情報及び情報技術を活用し、主体的に対応することができる。
評価の観点 の趣旨	・ビジネスにおける情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身につけ、社会における情報及び情報技術の意義や役割と適切に扱うことを理解している。		・ビジネスにおける実務上の問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適正に判断し表現している。		・学びに対しての真摯に向き合う態度が終始みられるか。		
評価の方法	課題提出物 小テスト 定期考査	課題提出物 小テスト	課題提出物 小テスト 定期考査	課題提出物 小テスト 定期考査	・『観察等』授業の取り組み方（真剣に学びに向かう態度であるか）		

年間計画

単元		学習内容	配当時数	特に重視する資質・能力	評価の観点と規準
情報機器の活用（表計算の活用）	表計算ソフトの作成と活用の基礎	ビジネスにおける情報機器の使用 方法と活用方法を理解し習得する。	40	【関心力・受容力・向上力】 ・情報関連に関わる者として、意欲的に授業に参加しようとしているか。 【理解力・生活力】 ・数学や統計、論理、検索、日付、文字列などの関数を利用し、表が作成できる。 ・表のデータを基に、棒、折れ線、円、レーダーチャートなどのグラフを目的に応じた形で作成することができる。 ・表計算ソフトウェアの特徴ならびに、ワークシートの構成や機能を理解している。 ・表計算ソフトウェアにおける数値、文字などのデータや計算式の取り扱いを理解している。	【学びに向かう力・人間性等】 ・情報関連に関わる者として、意欲的に授業に参加しようとしているか。 【知識・技能】 ・数学や統計、論理、検索、日付、文字列などの関数を利用し、表が作成できる。 ・表のデータを基に、棒、折れ線、円、レーダーチャートなどのグラフを目的に応じた形で作成することができる。 ・表計算ソフトウェアの特徴ならびに、ワークシートの構成や機能を理解している。 ・表計算ソフトウェアにおける数値、文字などのデータや計算式の取り扱いを理解している。
情報機器の活用と情報に関する知識（表計算の活用とデータベースの活用）	表計算ソフトの作成と活用の応用 情報に関する知識	ビジネスにおける情報機器の使用 方法と活用方法を理解し習得する。 情報に関する知識を理解する。	30	【分析力・表現力】 ・各種の情報やデータを分析し表計算の技術を活かして適切な表とグラフを作成することができる。 ・表計算ソフトウェアを活用した効率的な分析技法とデータベース技法を身につけ、資料を作成することができる。	【思考・判断・表現】 ・各種の情報やデータを分析し表計算の技術を活かして適切な表とグラフを作成することができる。 ・表計算ソフトウェアを活用した効率的な分析技法とデータベース技法を身につけ、資料を作成することができる。

備考

--